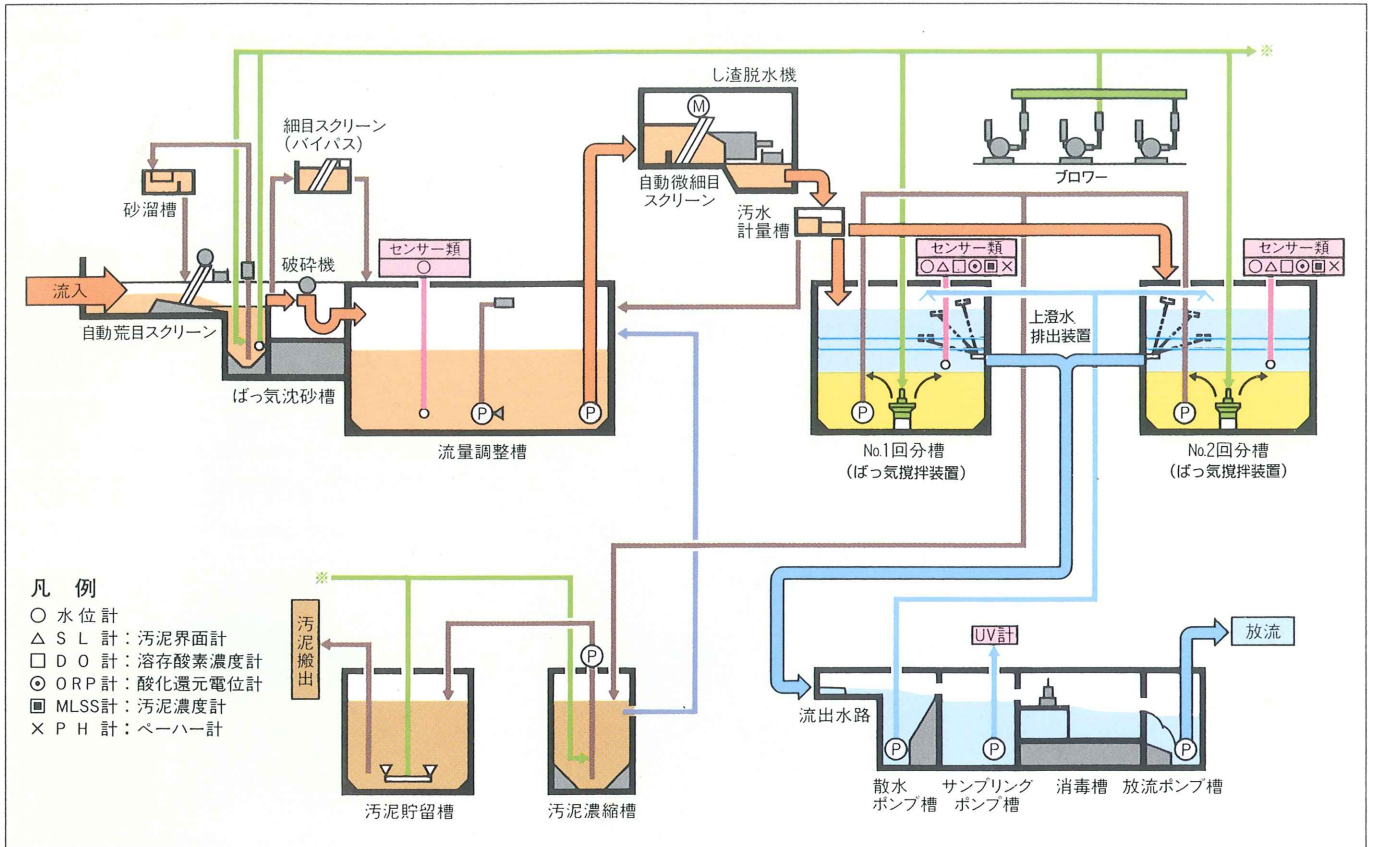
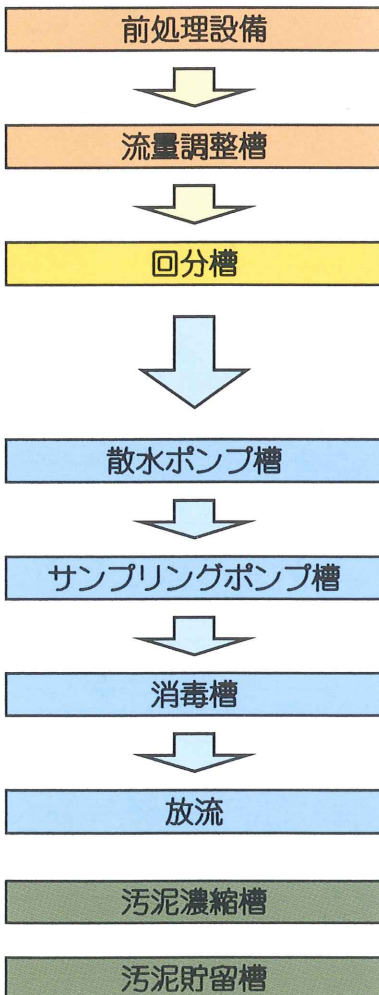


処理のしくみ



施設の構成



- 自動荒目スクリーン、ばっ気沈砂槽、破砕機等の前処理設備を完備して、流入汚水中の夾雑物や砂分を事前に除去します。
- 流入汚水の量的および質的な時間変動を均一化します。
- 回分槽で嫌気状態（攪拌のみ）及び好気状態（攪拌とばっ気）を繰り返すことにより、生物学的に有機物除去と窒素・リン除去を行います。SL計、DO計、ORP計、MLSS計、PH計により、汚水処理の状況を的確に把握し、空気供給量および余剰汚泥引抜き量等の調整を適切に行います。
- 回分槽内の上澄水排出装置の着水範囲のスカムを排除するために散水する処理水を一時貯留します。
- UV計へのサンプリング水を採取し処理水質を測定するとともに、処理水量の計測を行います。
- 処理水を消毒するために、所定量の塩素を注入します。
- 放流ポンプにより河川に放流します。
- 回分槽からの引抜き汚泥を濃縮します。
- 濃縮汚泥を搬出するまで貯留します。